



森からの便り



～森の劇場プロジェクト通信 2020年(春号)～

森の劇場プロジェクトは、津市の文化政策の一つ『津市文化創造事業』の委託を受け、公共文化施設を活用して“人”と“地域”を元気にすることを目的として活動するグループです。興味があればどなたでも参加できます。

機械と共存・共生していくことになるこれからの時代を、いつまでも笑ったり泣いたり笑ったり怒ったり笑ったりしながら気持ちよく生活し続けるために、地域の風土や風習から生まれた文化や、その生活に育まれた芸術を見直し改めて取り入れ、暮らす人々が「感じ合い」「考え合い」「伝え合う」ことのできる空間づくりを、それぞれの提供可能な時間の中で楽しんで驚いたり喜んだり悲しんだり感謝したりしながら活動を続けています。

今起こっている世界的パンデミックは、どのようなメッセージがあるのだろうか？と考えずにはられません。そのメッセージの根本に触れていくことが私達の活動の意味だと考えます。この機会にこそ、地球の一部として五感を発揮して気持ちよく生活していくことを多くの人と模索していきたいと願っています。

活動にご興味をお持ちも方はお気軽にご連絡ください。



森劇プロジェクト発足4年
これからの4年(第2期)は、
津市文化政策を深めていきます。

『トライ&エラーを共有し、一人ひとりが
プロフェッショナル市民を目指そう。』
を合言葉に地道に頑張ります。



*トライ&エラー：地域学に出てきた言葉。複数で進むためには必要なワード。
*プロフェッショナル市民：プロ=フロント=前/フェス=語る、前に向かって語る、言葉に責任を持つ人。まずは声に出して行動するというよりも、感度良好な意識を保つ努力ができること、と考えます。

2019年度寄付金協力 ありがとうございました m(_)_m

- アウトリーチゆめぼけっと ○ 小島真由美様 ○ 別府亮一様 ○ 山口京子様 (五十音順)
他匿名4名

計85,600円を白山町で採れた美味しい里山そうぞう学校給食米、芸術祭の新米で乾杯事業に、残りは次年度社会包摂アウトリーチに使わせて頂きます。心より御礼申し上げます。
(♪「アウトリーチゆめぼけっと」森劇が委託を受けアウトリーチしていただいた講師の皆さんより講師料の一部を次年度社会包摂アウトリーチの為に寄付いただく夢ある取り組みです。)



子ども里山そうぞう学校給食



芸術祭“新米で乾杯”

◎編集後記◎
熊野に住んでもうすぐ丸1年。次の引越しはいつなのかドキドキしながらもその反面、『移り住んでもいいかも...!』と思っていたりする。都会に出ればたくさんモノと情報に溢れ、便利を通り越すほどの便利な時代。この先の未来はどうなっていくのか、想像をし子ども達のことを考えるととても不安になる。私は熊野に住んでみて、モノの少なさが気になるという事よりも、自分が必要としない周りの色んな情報から解放され、全てのストレスが劇的に減っているように感じている!また、それが自分の心の余裕へと繋がる。
なんでも適量というものがあるって、情報が溢れる時代に適量を選び取る難しさや、断つ勇気がいるなと感じているこの頃です(^_^♪:Nari

▶▶プロジェクト事務局 ◀◀
〒515-2602
三重県津市白山町二本木306-20
TEL:(059)262-2088
FAX:(059)262-2088
メール:info@popra.jp



理由

活動一期目の4年間(2016~2019)を総合的に見つめてみました。

この活動は今、試行錯誤・創意工夫の継続により、社会的相続の役割を持った魅力的な地域づくりのシステムが動き始めています。多くの人々の利他的役割が多世代に伝搬し循環し始めました。

これからの大きな社会全体の変化が予想されます。その変化に対応できる市民文化政策を担っていきたくと考え、法人格を取得することにしました。

2020 運営メンバー紹介

～ 活動の根本を推し進めていくメンバー ～

『最近よく頭に浮かぶこと。』についての文章で紹介します。



森松 千恵

過干渉・過保護な親のことを「ヘリコプターペアレント」って言うんですね！何かと大人の目や意見を気にする子どもたちが多い様に思っていますが、森劇の活動によって、自分から発信できる人間が育つ事を祈ります。



中西 ゆかり

【ドラレコ車 いきなり増えて県道の交通ルールが良くなった】
コミュニケーションの低下が進む中、非人道的な事件が多く、他人と関わりたくないと思う気持ちが行動に現れているな～と感じます。一番身近で他人同士のコミュニケーションが必要な場所・・・みち！では、丁寧に思いやりある運転を心がけています。



東尾 由美
(監査)

故野村克也さんの言葉には、はっとさせられるものが多い。「金を残すは三流、名を残すは二流、人を残すは一流」「コンピューターが発達しようとしても、仕事の中心は人間だ。ならば、そこには『縁』と『情』が生じる。(略)」
森劇の活動と相通ずるものがありますね。



笠松 智子
(代表補佐)

色々な経験が積み重なり数十年、最近全てが繋がって来て少しは役に立っていると感じられるのは、ありがたいと思う。半年間のそうぞう学校での活動を終え、インプットも大事だと教冊の本を買った。ピンチのコロナをチャンスにして、老眼+睡魔と戦いながら読破できるかな? (^_^)



小川 由子

30代最後、何かやり残したことはないかと振り返り、苦手な長距離にあえて挑戦することにしました。結果は、何故か榊原温泉マラソン2位、津シティマラソン4位でした。今まで苦手だと自分で決めていただけなのかなあと、...。これから未来を担う子ども達は色々な才能や可能性を秘めているので、最初から苦手だと決めつけずどんな事にも挑戦してみたいと思います。



伊藤 知子
(代表補佐)

暮らす地区に、赤ちゃんからお年寄りまで何気に遊べる場所がないな.....
アパートや住宅地が増え幅広い世代がたくさんいるはずなのに、それを活かしていくということが見えないうち、.....
などと思う。



尾崎 美恵子

【自分を大事にするということ】
小さなすれ違いから、人間関係の煩わしさに絡めとられ、常にそのことが頭をもたげ、生活そのものが楽しくなくなる。何をしても潤いがなくなる。こんな時、自分の好きなことがあれば、無心に自分と向き合う時間が持てるように思う。少なくとも、その時は、人間関係の煩わしさは小さくなる。人を気にし、人の物差しで自分を見るのではなく、自分は自分の物差しを持ちたい。自分は何が好きなのか。自分は何がしたいのかを大事に。そういう意味では、もっと我儘な?生き方もいいのではないかなと思う。



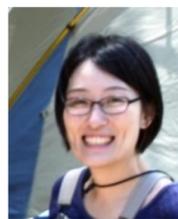
井谷 功

先日、ある本の中、気になる文章が何故か心に残りました。『世の中が、いかに変わろうとも人間の在り方に変わりはない。』人という生きものは、いつの時代も獣なのだ。本も読むし物事も考えることをするけれど、身にそなわった機能は何千年何万年前からすこしも変わっていない。だからこそ生きるためには時として人と人とが殺し合う。世の中どのように変わろうとも、またどの様な時でも変わらない一人の人間として生きる覚悟がなければならない。



長野 多恵
(代表)

津市白山町に暮らし始めて30年。太古より人の暮らしがあったであろうこの地域。時代をゆくりさかのぼり、たとえば縄文人になって自然と密着する生活を想像する。それだけでも気持ちよくなって顔がゆるんでいたりする。



山村 水帆

南海トラフ大地震が起きたら私はどうするだろう...ということ。被災経験のある方の話を聞いて確信したのは、1番の備えは人間関係だということ。親子で仲良くできる友人関係をあちこちに築いておきたいと改めて感じているこの頃です。

子ども里山そうぞう学校 <子どものための文化芸術体験事業>



♪ 子ども里山そうぞう学校2020 : 7月5日(日)スタート

↳ 12月20日(日)までの半年間

自然体験+芸術体験+表現活動の23回プログラム

● 地域の達人の能力(人)と白山総合文化センターと周辺環境(場)を繋ぎ、子ども達が自分自身を想像し、なりたい自分を創造していく過程を応援する

● 対象:小学生 定員:30名

♪ 子ども里山そうぞう学校・専科

【創作表現クラブ】【能楽クラブ】【里山探検移動クラブ】:7月~12月開催

● 子ども里山そうぞう学校参加経験者のための継続プログラム。

自分で選び、自分たちでつくり出す。

※日程、内容の詳細は、参加要項参照(HPから閲覧可)※

ようこそ森の劇場へ “里山ばんざい芸術祭” <市民による舞台芸術創造活動>

12月6日(日)

● 13:00開場/14:00開演(16:00終演)

● 参加料:大人1,000円/子ども500円

● 白山総合文化センター:しらさぎホール

↳ 市民演劇「コノ村『山神』伝」の上演

津市オリジナル脚本:西田久光

↳ 一年感謝祭(新米の振る舞い 他)

↳ ♪ふるさと♪全員合唱

大人も里山そうぞう学校 <大人のための文化芸術体験活動>

✕ 山の風club <舞台演出に関わる表現活動♪と舞台スタッフ>

● 白山総合文化センター及び周辺文化施設

● 影のコーラスや効果音の制作などにチャレンジ、里山ばんざい芸術祭に参加。

✕ コノ村club <舞台表現、役者にチャレンジ>

● 白山総合文化センター及び周辺文化施設

● コノ村「山神」伝の脚本を通し、これからの地域の在り方を考え、伝える。

✕ 山歩き発見club <あるく・みつける・気持ちいい 子どももOK>

● 津市内の里山~山、とにかく自分の足で歩いてみよう。

そうぞう活動(想像×創造) ~アウトリーチ事業~

※現在未定※

コミュニティ醸成のための文化芸術活動支援事業 <通称「モンブランラボ(〇〇)社会包摂文化芸術自立活動>

※現在未定※

文化創造事業推進活動 <プロジェクトの土台となる活動>

森劇スタディー(主に第四木曜午前中):白山総合文化センター内研修施設にて

↳ 市民文化政策、社会包摂活動などの勉強会、活動の報告・振り返り共有など。

活動説明会 4月25日(土)13:30~

↳ 活動参加者のための説明と、継続者のための確認会。

活動総括 2021年3月6日(土)13:30~

↳ 年間総括、次年度活動計画。



